

# TAKE NINAGAWA

## バイオグラフィー

青木陵子

Ryoko Aoki

1973年兵庫県生まれ

現在京都府在住

1999 京都市立芸術大学大学院 ビジュアルデザイン科修了

## 主な個展

- 2024 「境界線のはなし」 Take Ninagawa, 東京 (開催予定)
- 2020 「変化する自由分子のWORKSHOP」 ワタリウム美術館, 東京 (with 伊藤存)
- 2018 「Ryoko Aoki and Zon Ito」 Yamamoto Keiko Rochaix, ロンドン (with 伊藤存)  
「三者面談で忘れてるNOTEBOOK」 Take Ninagawa, 東京
- 2011 「みどり色のポケット」 Take Ninagawa, 東京
- 2010 「ワイルドフラワーのたね」 On Sundays, 東京
- 2009 「Camp」 Konrad Fischer Gallery, デュッセルドルフ (with 伊藤存)  
「オブジェクト・リーディング」 フォイル・ギャラリー, 東京
- 2007 「Under the Secret」 児玉画廊, 大阪  
「Ripples」 Nicole Klagsbrun, ニューヨーク
- 2005 「Super Flyer」 児玉画廊, 東京  
「Hammer Project: 青木陵子」 Armand Hammer Museum of Art and Culture Center at UCLA,  
ロサンゼルス, カリフォルニア州
- 2004 「Sliding Circle」 Marc Foxx Gallery, ロサンゼルス, カリフォルニア州
- 2002 「Gluesights」 児玉画廊, 大阪  
「クリテリオム51 青木陵子」 水戸芸術館 現代美術ギャラリー, 水戸

## 主なグループ展

- 2024 「大地と風と火と：アジアから想像する未来」 AWT FOCUS, 大倉集古館, 東京 (開催予定)  
「神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond」 六甲山, 兵庫 (with 伊藤存)  
「an arena」 Barbati Gallery, ヴェネチア  
「恵比寿映像祭2024：月へ行く30の方法」 東京都写真美術館, 東京 (with 伊藤存)
- 2023 「Body, Love, Gender」 キュレーション：椿玲子, Gana Art Center, ソウル  
「平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで」 AWT FOCUS, 大倉集古館, 東京  
「15」 Take Ninagawa, 東京  
「ケアリング/マザーフード：「母」から「他者」のケアを考える現代美術」  
水戸芸術館現代美術ギャラリー, 水戸
- 2022 「視覚トリップ展」 ワタリウム美術館, 東京

# TAKE NINAGAWA

- 2021 「日常のあわい」 金沢21世紀美術館, 金沢 (with 伊藤存)  
「SOUTH SOUTH 東京」 Take Ninagawa, 東京
- 2020 「コレクション1: 越境する線描」 国立国際美術館, 大阪
- 2019 「Reborn-Art Festival 2019」 網地島, 宮城 (with 伊藤存)
- 2018 「国立国際美術館コレクション: 美術のみかた 自由自在」 豊橋市美術博物館 (愛知);  
福岡県立美術館 (福岡)- 2019  
「現代アートの宝箱 OPAM利岡コレクション」 大分県立美術館, 大分  
「Public Art Research Center 8 [PARC8: 橋をかける]」 札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ),  
札幌 (with 伊藤存)  
「ヘレン・アット・ザ・マウンテン」 てつおのガレージ, 栃木  
「181枚の記憶-高松市美術館特別展の歩み-」 高松市美術館, 高松  
「10th Anniversary」 Take Ninagawa, 東京
- 2017 「In Focus: Contemporary Japan」 ミネアポリス美術館, ミネソタ州  
「Post-Formalist Painting」 駒込倉庫, 東京  
「Reborn-Art Festival in Tokyo」 ワタリウム美術館, 東京 (with 伊藤存)  
「Reborn-Art Festival 2017」 石巻, 宮城 (with 伊藤存)  
「コレクション-風景表現の現在」 国立国際美術館, 大阪  
「椿会展 2017-初心-」 資生堂ギャラリー, 東京
- 2016 「現代地方譚4 アーティスト・イン・レジデンス須崎」 すさき まちかどギャラリー/旧三浦邸,  
高知  
「Location, Location, Location」 Marc Foxx Gallery, ロサンゼルス, カリフォルニア州  
「トレッドソン・ヴィラ・マウンテン・スクール 2016」 statements, 東京  
「椿会展 2016-初心-」 資生堂ギャラリー, 東京  
「囚われ、脱獄、囚われ、脱獄」 statements, 東京
- 2015 「Two Sticks」 ヴロツワフ建築博物館, ヴロツワフ  
「現代地方譚3 アーティスト・イン・レジデンス須崎」 すさき まちかどギャラリー/旧三浦邸,  
高知  
「古今東西100人展: アイ・ラブ・アート13 ワタリウム美術館コレクション」  
ワタリウム美術館, 東京  
「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」 東京オペラシティ アートギャラリー, 東京  
「Wabi Sabi Shima - Of the Aesthetic of Perfection and Chaos in the Japanese Archipelago」  
Thalie Art Foundation, ブリュッセル  
「椿会展 2015-初心-」 資生堂ギャラリー, 東京  
「トレッドソン別邸のため」 トレッドソン別邸, 栃木  
「still moving」 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA, 京都  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Champasari Art Gallery, マハーサーラカム大学 (タラット); Koala space (天津); 53美術館 (広州);  
香港アート・センター (香港); 高雄市文化センター (高雄); マラヤ大学美術館 (クアラルンプール);  
Muzium & Galeri Tuanku Fauziah; マレーシア科学大学 (ペナン)- 2016
- 2014 「拡張するファッション」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川); 水戸芸術館 現代美術センター  
(水戸)

# TAKE NINAGAWA

- 「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画: クロニクル1995-」 東京都現代美術館, 東京  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Omani Society Fine Arts (マスカット); M16 Artspace (キャンベラ);  
Gallery Central (パース)- 2015  
「椿会展 2014-初心-」 資生堂ギャラリー, 東京
- 2013 「5th Anniversary」 Take Ninagawa, 東京  
「Now Japan: Exhibition with 37 Contemporary Japanese Artists」 Kunsthal KAdE,  
アメルスフォート, オランダ  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
メトロポリタン美術館 (マニラ); 龍頭山美術展示館 (プサン); 安養ロッテ・ギャラリー (アンヤン);  
済州道立美術館 (チェジュ); 在大韓民国日本国大使館広報文化院 (ソウル);  
ホーチミン市労働文化会館展示館 (ホーチミン); ベトナム国立美術博物館 (ハノイ)- 2014  
「椿会展 2013-初心-」 資生堂ギャラリー, 東京  
「Re: Quest - 1970年代以降の日本現代美術」 ソウル大学校美術館, ソウル
- 2012 「5th International Biennial of Media Art: Experimenta Speak to Me」  
RMIT Gallery, メルボルン  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
シントラ現代美術館 (シントラ); アリカンテ大学美術館 (アリカンテ);  
Theocharakis Foundation Museum (アテネ); マルミタロ (ヘルシンキ)- 2013
- 2011 「世界制作の方法」 国立国際美術館, 大阪  
「クロスカウンター・日英アーティスト共有展」 Capsule, 東京  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Gezira Art Center (カイロ); Tkachi (サンクトペテルブルク); 国立現代美術センター (モスクワ);  
エルンスト美術館 (ブダペスト)- 2012  
「CAFE in Mito 2011-かかわりの色いろ」 水戸芸術館 現代美術ギャラリー, 水戸
- 2010 「高松コンテンポラリーアート・アニュアルVol.01-もうひとつの・カーニバル」  
高松市美術館, 高松  
「alive - birth of a tale」 Gallery Factory, ソウル  
「The More I Draw - Drawing as a Concept for the World」 ジーゲン現代美術館, ドイツ  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
メキシコ国自治大学附属チョポ美術館 (メキシコシティ); トロント日本文化センター (トロント);  
日米文化会館 ドイザキギャラリー (ロサンゼルス)- 2011  
「HANA 現実と虚構が溶け合った視覚の冒険」 小山市立車屋美術館, 栃木  
「絵画の庭-ゼロ年代日本の地平から」 国立国際美術館, 大阪
- 2009 「Twist and Shout: Contemporary Art from Japan」 バンコク芸術文化センター, バンコク  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」  
Aberystwyth Arts Centre (アベリストウィス); ローマ日本文化会館 (ローマ);  
ケルン日本文化会館 (ケルン)- 2010  
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」 原美術館, 東京
- 2008 「Art on Paper」 ノース・カロライナ大学 グリーンズボロ校, ノース・カロライナ州  
「MOT コレクション: サバイバル・アクション」 東京都現代美術館, 東京  
「ライフがフォームになるとき-未来への対話/ブラジル、日本」 サンパウロ近代美術館,

# TAKE NINAGAWA

## サンパウロ

- 2007 「ドクメンタ12」 documenta halle, カッセル, ドイツ  
「夏への扉-マイクロポップの時代」 水戸芸術館 現代美術ギャラリー, 水戸
- 2006 「Psychic Scope」 Space\*C, ソウル  
「Rapt! - 20 contemporary artists from Japan -」 West Space, メルボルン
- 2005 「夏の蜃気楼-自然をうつしだす現代の作家たち-」 群馬県立館林美術館, 群馬  
「PAPER」 Nicole Klagsbrun, ニューヨーク
- 2004 「Past in Reverse: Contemporary Art of East Asia」 サンディエゴ美術館, カリフォルニア州  
「アートがあれば: Why Not Live For Art?」 東京オペラシティ アートギャラリー, 東京  
「on paper」 Nicole Klagsbrun, ニューヨーク
- 2003 「Study」 タカ・イシイギャラリー, 東京  
「Slow Painting」 大和ラジエーターファクトリー・ビューイングルーム広島, 広島  
「Dark Shadows」 Marc Foxx Gallery, ロサンゼルス  
「Girls Don't Cry」 パルコミュージアム, 東京
- 2002 「Art in Transit」 パレスサイドホテル, 京都  
「想画集」 ヴォイスギャラリー, 京都
- 2001 「横浜トリエンナーレ2001: メガ・ウェイブ-新たな総合に向けて-」 パシフィコ横浜展示ホール,  
横浜 (with 伊藤存)  
「Kyoto x Amsterdam - New Directions」 京都芸術センター, 京都
- 2000 「The J-Way」 Lydmar Hotel, ストックホルム
- 1998 「どないやねん! 現代日本の創造力」 パリ国立高等美術学校, パリ

## レジデンシー

トレッドソン別邸, 日光, 栃木  
すさき まちかどギャラリー, 高知

## 主なパブリック・コレクション

アーマンド・ハマー美術館  
ニューヨーク近代美術館  
大分県立美術館  
国立国際美術館  
東京都現代美術館  
高松市美術館  
資生堂